

## 重点戦略 1 魅力が輝き交流が盛んな地域づくり

## 施策(1) 北陸新幹線の早期全線整備と開業効果の持続・発展

### 1) 金沢・敦賀間の確実な開業の実現と大阪までのフル規格による早期全線整備

- ① 北陸新幹線の早期全線整備を実現するため、関西圏を含めた沿線各県との連携を密にし、国等への働きかけを強化します。

### 2) 開業効果を持続・発展させ、県内全域に波及させるための取組みの推進

- ① 金沢開業効果の持続・発展と敦賀開業に向けた取組みを推進します。
  - ・開業効果を県内全域に波及させるため、引き続き、首都圏等からの観光誘客に努めます。
  - ・移住・定住を促進し、交流・定住人口を拡大するなど、開業効果を幅広い面での県の発展につなげていきます。
  - ・敦賀開業に向けた取組みを推進します。
- ② 北陸新幹線の開業に伴いJRから経営分離される並行在来線については、県民の日常生活や経済活動に欠かせない幹線鉄道として安定的な経営・運行を行っていきます。
  - ・既にIRいしかわ鉄道が運行している金沢以東の区間については、輸送の安全性を最優先に、利用者の利便性の確保を図ります。
  - ・今後、JRから経営分離される金沢以西の区間については、金沢以東の区間の課題も検証した上で、開業に向け万全を期していきます。

## 施策(2) さらなる誘客促進と石川ファンの拡大

### 1) 誘客の促進と満足度向上による石川ファンの拡大

#### ① 旅行ニーズの多様化に対応した観光魅力の発掘・磨き上げ、旅行商品化を進めます。

- ・産業観光、グリーンツーリズム、スローツーリズムなど、体験観光メニューをはじめ新たな観光魅力の発掘・磨き上げに取り組みます。

#### ② 伝統芸能や伝統工芸、食文化、ふるさと文化など石川の優れた文化を観光資源として活用します。

- ・首都圏アンテナショップや大規模イベント等において、伝統工芸や食文化、祭りをPRするなど、本県の豊かな文化を活かした観光誘客に取り組みます。
- ・能や邦楽、金沢芸妓の舞など石川ならではの伝統芸能体験や食のイベントの開催などにより、交流人口の拡大に取り組みます。
- ・日本遺産、いしかわ歴史遺産等の文化遺産を活用した観光振興に取り組みます。【重点戦略2-施策(1)-2)-②参照】

#### ③ 観光地の活性化とまちづくりを推進します。

- ・地域の特徴や素材を活かしたイベントを実施します。
- ・地域の観光資源を活かした熱意ある取組みに対して支援することにより、観光地の活性化を推進します。
- ・観光客の視点に立った案内サインの充実やまち歩きを楽しめる取組みを推進するなど、観光客の歩行環境と回遊性の向上を図ります。
- ・石川の魅力ある里山里海の景観や歴史的な街なみ、田園風景など、多彩な景観資源の保全・創出を推進します。
- ・全国で唯一の車で走行可能な千里浜海岸の砂浜を保全し、観光資源としてのさらなる活用を図ります。

#### ④ MICEや教育旅行の誘致を促進します。

- ・受入体制の充実や誘致のための助成、本県の魅力を活かした誘致に取り組みます。
- ・学校のニーズに応じた体験学習プログラムやモデルコースの提案など、教育旅行の誘致に取り組みます。

### 2) おもてなしの向上

#### ① 石川ファンを拡大するためのおもてなしの向上を図ります。

- ・観光客の声を観光業界全体で共有し、具体の改善につなげることにより、観光客の満足度向上、リピーターの確保を図ります。

### 3) 観光振興を担う人材の育成

#### ① 本県を訪れる観光客の満足度を高めるため、新たな観光魅力の発掘・磨き上げや旅行商品化を担う人材を育成します。

- ・将来に渡り本県の観光を発展させるための次の時代を見据えた観光人材の育成に取り組みます。

#### ② おもてなし人材の育成・充実を図ります。

- ・「観光おもてなし塾」等により、観光事業者の指導者層の意識向上やスキルアップに努めます。
- ・金沢駅観光案内所等の機能・サービスを充実します。

### 4) 情報発信の充実

#### ① 旅行ニーズの多様化に対応したきめ細かな情報発信に取り組みます。

- ・ターゲットを意識し、適切な情報を効果的に発信します。
- ・石川にゆかりの深い人や石川ファンを通じた口コミによる情報発信を図ります。

#### ② 本県認知度の持続・向上のための情報発信を推進します。

- ・三大都市圏等での誘客プロモーションや北陸新幹線開業を踏まえた新たな重点地域（東北地方）における誘客プロモーションを実施します。
- ・首都圏等で開催される大規模イベント等を活用し、情報発信を行います。
- ・アンテナショップを活用し、情報発信を行います。
- ・石川県観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」を活用し、プロモーションを行います。

## 5) 広域連携による周遊観光の促進

### ① 新幹線開業による誘客効果の全県波及・持続発展を図ります。

- ・県内各地域の特徴・素材を活かしたイベントの実施、県内広域周遊旅行商品の造成促進に取り組みます。

### ② 県域を越えたテーマ性のある周遊観光を促進します。

- ・広域観光を促進するため、北陸3県やJRと連携したキャンペーンに取り組みます。
- ・隣県や北陸新幹線沿線等と連携した共同観光PRや空港を活用した広域観光の推進に取り組みます。
- ・白山白川郷ホワイトロードの利活用の促進に取り組みます。

## 6) 魅力ある観光資源を活かす「おもてなし」のみちづくり

### ① 観光資源として「みちの価値」を高めるとともに、能登・金沢・加賀各地域を巡る回遊性を向上します。

- ・観光地等での無電柱化を核とした街なみ景観の形成や並木整備の他、音楽を奏でる「おとのみち」の整備等を進めます。
- ・観光周遊道路において、周辺景観に調和した防護柵の設置や、外国人観光客も含め誰もがわかりやすい道路案内・交通情報の提供を行います。
- ・道の駅や寄り道パーキング等の休憩施設の機能拡充を進めます。
- ・安全で快適にサイクリングを楽しむことができるよう、魅力ある自転車通行環境の整備を進めます。

### ② 地域が取り組む沿道の景観対策や道路美化活動等のまちづくりと一体となり、地域のにぎわいを創出します。

- ・地元のまちづくり協議会等との協働により、地域固有の文化、商業、観光資源を活かしながら、沿道の街なみと一体となった道路整備を進めます。
- ・地域住民・企業と連携し、沿道の飾花・美化活動等を進めます。

## 施策(3) 東京オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた海外誘客

### 1) 海外誘客の促進

#### ① 東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、本県の認知度向上を図ります。

- ・北陸新幹線沿線を巡る新たなゴールデンルートづくりを目指し、旅行博出展、海外メディアの招へいなど、海外に向けた積極的な観光PR活動を展開します。
- ・県海外事務所、観光親善大使、県内留学生、海外進出企業のネットワークを活かしたPRの強化に取り組みます。

#### ② 東京オリンピック・パラリンピック開催を活かした海外誘客に取り組みます。

- ・北陸新幹線など充実した交通インフラを活用した広域連携による周遊観光を促進します。
- ・各国の観光ニーズに応じた戦略的な取組みを推進します。
- ・県内発着クルーズ船の前後泊ツアーなど新たな需要の開拓を図ります。

#### ③ 外国人旅行者の受入体制の充実を図ります。

- ・飲食店メニューの多言語化、免税店の登録など外国人旅行者の利便性向上を図るため、民間事業者等を対象としたセミナー等を開催し、外国人旅行者の受入環境の改善に取り組みます。
- ・兼六園・金沢城公園等の外国語ボランティアガイドを育成します。

## 施策(4) 人・ものの広域な交流のための基盤整備と活用

### 1) 交流基盤のさらなる充実と活用

#### ① 高速陸上交通の充実を図ります。

- ・北陸新幹線の早期全線整備の実現を目指します。【施策(1)－1) 参照】
- ・能越自動車道路等の高規格幹線道路の整備を促進します。

#### ② 二次交通アクセスと機能の充実を図ります。

- ・関係機関と連携し、公共交通の利便性向上と利用促進を図ります。【重点戦略3－施策(3)－4)－②参照】
- ・陸・海・空の交流拠点へのアクセス道路の整備を進めます。【2)－②参照】
- ・道の駅等の機能の拡充を進めます。【施策(2)－6)－①参照】
- ・市街地の円滑な自動車交通を確保する道路整備を進めます。【重点戦略3－施策(3)－4)－①参照】

#### ③ 小松空港の国内線・国際線の航空ネットワークを活用した交流を促進します。

- ・航空の強みを活かし、国内線の利用促進に取り組みます。
  - ◇新幹線と航空による相乗効果を図りながら、羽田便の利便性向上と利用促進に取り組みます。
  - ◇羽田乗継の利用促進に取り組み、新たな航空需要を開拓します。
- ・小松空港の優位性を活かした国際化を推進します。
  - ◇国際定期直行便各路線の特長を活かした利用促進に取り組みます。
  - ◇新規路線誘致に向け、チャーター便の就航促進に取り組みます。
- ・国際航空貨物の集積による国際物流拠点化を推進します。
  - ◇国際貨物便の活性化に向け、新たな貨物需要を開拓します。

#### ④ のと里山空港の利用促進と、にぎわい創出による地域拠点としての活性化を図ります。

- ・羽田便の複数便維持のため、首都圏・地元双方向の利用促進を図ります。
- ・海外からの旅客誘致のため、国際インバウンドチャーター便の運航支援を行います。
- ・能登地域の特性を活かした各種イベント開催などを推進します。

#### ⑤ 国際物流拠点として金沢港の整備を進め、人・ものの交流の拡大を図ります。

- ・地域産業の国際競争力向上を図るため、大浜国際物流ターミナルの整備を促進します。
- ・貨物量の増大に対応するため、コンテナターミナルの機能強化を図ります。

#### ⑥ 能登地域の拠点港として七尾港の港湾施設の充実と利用促進を図ります。

- ・能登地域の流通拠点基地としての充実を図るため、大田国際物流ターミナルの整備を促進します。

#### ⑦ 本州の日本海側中央に位置し、国際的に評価の高い観光地に近いという優位性を活かし、戦略的にクルーズ船を誘致します。

- ・釜山港などの他港とも連携し、金沢港を発着地とするクルーズ船などの戦略的な誘致を進めます。
- ・クルーズ船の受入体制を充実するとともに、発着港としての定着に向け、県内におけるクルーズ需要の喚起を図ります。

## 2) 「ダブルラダー輝きの美知」構想の推進

県土を隈無く網羅する幹線道路網の形成により、人とももの交流拡大を図る「ダブルラダー輝きの美知」構想(※)を推進します。

### ① 時間距離の短縮により県土の一体化を図ります。

- ・県内各地に至る時間距離を短縮し、細長い県土のさらなる一体化を推進します。
  - ・ゆずりレーンや幅広い路肩の設置により、安全で快適な移動を確保します。
- ◇のと里山海道、能越自動車道、金沢外環状道路山側幹線、加賀産業開発道路 等

### ② 陸・海・空の交流拠点との連携強化を図ります。

- ・鉄道、港湾、空港と道路との連携強化により、人・ものの円滑な移動を確保します。
- ◇金沢外環状道路海側幹線、加賀海浜産業道路、加賀産業連絡道路 等

### ③ 隣県や三大都市圏との広域交流圏を形成します。

- ・隣県や三大都市圏へのアクセスを強化し、広域観光圏の形成や広域交流を促進します。
- ◇東海北陸自動車道、小松白川連絡道路、国道8号、金沢福光連絡道路 等

### ④ 能登・金沢・加賀各地域を巡る回遊性を向上します。

- ・魅力ある観光地相互の連携を強化し、県内各地を巡る回遊性を向上します。
- ◇国道157号、南加賀道路、奥能登絶景海道 等

### ⑤ 緊急時の道路ネットワークを確保します。

- ・骨太で多重な幹線道路ネットワークを確保し、緊急時の迅速な救急・支援活動を支えます。
- ◇奥能登横断道路、中能登横断道路、七尾外環状道路 等

※「ダブルラダー輝きの美知」構想・・・本県の広域幹線道路整備の基本方針。既存の幹線道路ストックを活かし、さらに磨き上げる（強化する）ことによって、走行性・定時性・安全性を向上し、定住人口の維持・拡大、新幹線開業効果の県内全域への波及を図る。

## 「ダブルラダー輝きの美知」構想 構成路線

### 【南北幹線】

- ・北陸自動車道
- ・能越自動車道
- ・東海北陸自動車道
- ・珠洲道路
- ・輪島道路
- ・のと里山海道
- ・国道249号
- ・国道159号
- ・河北縦断道路
- ・月浦白尾IC連絡道路
- ・金沢外環状道路
- ・加賀産業開発道路
- ・加賀海浜産業道路
- ・国道8号
- ・中部縦貫自動車道連絡道路  
(国道157号、国道416号)
- ・南加賀道路
- ・国道364号

### 【東西幹線】

- ・奥能登絶景海道
- ・奥能登横断道路
- ・門前道路
- ・中能登横断道路  
(福浦港中島線、富来中島線)
- ・能登中核工業団地徳田大津インター線
- ・七尾道路
- ・七尾外環状道路
- ・国道415号
- ・かほく東西幹線道路
- ・国道8号(舟橋～県境)
- ・金沢福光連絡道路  
(国道304号、金沢井波線、金沢湯涌福光線)
- ・加賀産業連絡道路  
(川北縦貫道路、能美東西連絡道路)
- ・小松白川連絡道路
- ・中部縦貫自動車道